

第4学年国語科学習指導案

日時 平成17年9月8日(木)5校時

場所 4年1組 教室

児童 4年1組 男16名 女15名 計31名

指導者 金子 徹也

- 1 単元名 調べて発表しよう
教材名 「伝え合う」ということ

2 単元設定の理由

(1) 児童観

子ども達は、3年上「道あんないをしよう」で大事なことを選び順序よく話すこと、大事なことに気をつけて聞くことを、4年上「伝言はまちがえずに」では大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることを学習した。日常活動では、身近な出来事のスピーチや短い詩の暗唱、表現集会での発表を行っている。その結果、身近な出来事について順序立ててスピーチをする事に慣れ、それらに興味を持って聞くことや、大事な用件を短くメモすることができるようになってきた。しかし、スピーチには個人差があり、ちゃんと原稿を書いてきて話す準備をする子もいれば、思いつきで話をして十分に言いたいことを伝えられない子も少なくない。また、アンケート結果からスピーチについては「とても好き」が10人(32%)、「好き」10人(32%)、「少し好き」10人(32%)、「嫌い」1人(4%)で「少し好き」の理由はほとんどが緊張するから、恥ずかしいからというものであり、十分満足できる状態であるとは言い難い。さらに話の中心や組み立てなど内容面を意識しながらスピーチしている児童はとても少なく、相手が伝えたいことを考えながら「聞くこと」のできる児童は少ない。

(2) 教材観

本教材は「手と心で読む」をきっかけに課題を持ち、調べたことを原稿にまとめ、それを基に発表の仕方を工夫して練習し、発表会を行うという活動である。これらの活動を通して、さらに知識を得、ものの見方・考え方を広げることがをねらいとしている。ものの見方・考え方を広げるとは、友だちの発表を聞いて、新たに自分の考えを持つことである。そのためには、聞き手に伝わるようなスピーチをする力、話し手の伝えたいことを聞き取る力が必要となる。そこで、体験学習や調べ学習を充実させ、伝えたい内容を明確にして原稿を組み立てること、それを基に、相手を意識したスピーチ練習を充分にすること、発表会や交流会を行うことにより、中心を意識して原稿を組み立てる力、よりよいスピーチをする力、中心に気をつけて聞く力をつけることができる。以上のことから、中心や組み立てを意識し、相手に伝わるように自信を持って話す力、相手の伝えたいことを考えながら聞く力を育てるのに有効な教材である。

(3) 指導観

「話すこと・聞くこと」の言語活動への関心、意欲、態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手だてとして位置づけた。

関心を喚起させるために

- ・課題を立てる前に、総合的な学習で「老人体験」「アイマスク体験」「点字体験」等の体験活動を行い、詳しく調べてみたいという具体的な課題意識につなげる。
 - ・調べ学習コーナーを作り、本・資料・写真・福祉に関わる具体物などを設置し、進んで調べることができる環境を整える。
- 意欲を持続させるために
- ・発表会では、招待した3年生の手本となるような態度で、友だちには調べた内容が伝わるよう工夫してスピーチすることを意識して練習させる。
 - ・モデルを提示することで、上手なスピーチの仕方をイメージできるようにする。
 - ・視聴覚機器を活用し、良いモデルの提示をしたり、スピーチ練習の手だてとしたりする。

態度を育成させるために

- ・相互評価や自己評価を通じて自分の伸びが感じられるようにする。
- ・発表会後にスピーチの内容に関わって、初めて知ったことや良かったことを交流することにより、考えを深め、満足感を持たせられるようにする。

指導と評価を一体化するために

- ・事前テストや振り返りカードを基に計画的に個々を見取り、次の指導に生かす。
- ・相互評価や自己評価はもちろん、教師からも適切なアドバイスや評価を適宜行う。

3 単元の指導目標

- ・ 「手と心で読む」をきっかけに、点字などの伝え合いの方法に興味をもち、自分の課題をもって調べて発表するとともに、交流によってさらに知識を得、ものの見方・考え方を広げる。

4 単元の評価規準 (B)

ア 国語への関 心・意欲・ 態度	関 心	① 「伝え合う」ことに興味をもち、自分の課題を持って調べようとしている。
	意 欲	② 相手意識を持って話したり聞いたり、進んで練習をしようとしている。
	態 度	③ 話の中心に気を付けて、話したり聞こうとしたりしている。
イ 話す・聞く 能力	構 成 要 素	① ① 調べた事の中から自分の一番知らせたいことは何かを考えている。
		② ② クラスの友達に自分の考えが分かるように筋道を立てて話している。
		③ ③ 話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめている。
ウ 読む能力		① 自分なりの課題をもつために、「手と心で読む」を読む。
エ 言語についての 知識・理解・技能		① グループ内、クラス内など状況に応じて適切な音量や速さで話している。 ② 相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話している。

5 単元の指導計画 (話す・聞く 13時間, 読む 1時間)

時間	主な学習活動	具体的評価規準 (B)と【評価方法】	指導の手立て
一 次	第1時 ○単元名から単元のねらいをつかみ、学習の見通しをもつ。 ○「手と心で読む」全文を通読し、初発の感想を交流する。	アー① 学習のめあてが分かり、単元全体の見通しをもっている。 【観察・発言】	・まず「伝え合う」とはどういうことなのか単元のねらいをつかみ、目的意識を明確にもって学習を進められるようにする。
	第2時 ○「手と心で読む」の内容を読み取り、自分をもっと調べてみたいことを考える。	ウー① 「手と心で読む」を読み取り、初めて知ったことや疑問に思ったことなどを書きまとめている。 【ノート】	・写真や実物を使って興味を喚起するようにする。 ・三つの大きなまとめり毎におよその内容をつかむ。
	第3時 ○自分が調べたいことを決め、グループ毎に調べる内容・方法・分担について話し合う。	アー① 調べる内容や方法を積極的に話し合っている。 【グループの話し合いの様子】 【学習カードの記述】	・点字にとらわれず、目や耳、身体に障害を持つ方々の「伝え合い」についても広い観点で探させたい。
二 次	第4 5 6時 ○自分の課題について、学習計画に基づいて調べ学習をする。	アー② 伝え合い、分かり合うための工夫について、計画に沿って進んで調べている。 【活動の様子】 【取材カードの記述】	・調べて分かったことや思ったこと、考えたことをそれぞれ取材カードに書く。 ・希望する子どもには、障害をもつ方々にお話を伺う機会を設ける。
	第7時 ○知らせたい中心を決め、前時までに書いたカードを整理したり話す順番に並べ替えたりする。	イー① 知らせたい事の中心を考えて、カードを整理したり、並べ替えたりしている。 【構想表・ノート】	・教科書の発表例からだけでなく、指導者がモデルスピーチを行うことで話の中心や組み立てについて考えさせるようにする。

時間	主な学習活動	具体的評価規準 (B)と【評価方法】	指導の手立て
二 次	第8 9時	○調べて分かったことをもとに発表原稿を作る。 イー① 伝えたい中心をはっきりさせ、初め・中・終わりの簡単な組み立てで原稿をかいている。 【発表原稿の内容分析】	・初めに教科書の発表例から、基本的な組み立てと分量を全体で学び合ってから、書く活動に入るようにする。 ・発表原稿は、発表することができるように工夫したい。
	第10時 ～ 本時 ～	○スピーチ原稿をもとに、スピーチメモを作る。 イー① スピーチメモに、知らせたい事が確実に伝わる言葉、話すのに必要な言葉を選んで、端的に書いている。 【スピーチメモの内容分析】 アー② 相手を意識して、進んでスピーチの練習をしようとしている。 【練習の観察】	・よい発表の仕方を考えさせるためにあらかじめ教師（もしくは児童）がモデルとなってビデオ資料を作成する。 ・聞き手を見て話している発表者の原稿の工夫を紙板書で提示したり、教科書の発表メモの例を活用したりして、書き出しを囲むメモの工夫に気付かせる。
	第11時	○スピーチメモをもとに練習をする。 ○練習をもとに自分のスピーチを見直す。 イー② 話しの区切りや大事な言葉の前で、間を取りながら話している。 【練習の観察】 【自己評価カードの内容分析】	・良いモデルと悪いモデルを比較させることで、間を取って話す良さに気づかせる。 ・グループ練習の際、アドバイスや良さを伝え合うことで、個々の活動が高まるようにする。また、教師も適宜評価を行うようにする。
	第12時	○調べたこと「発表会」のやり方を知る。 ○聞き取りメモの工夫について話し合う。 ○実際にメモをとりながら練習する。 イー③ 友達のスピーチの大事なことを、メモを工夫しながら聞き取っている。 【聞き取りメモの記述内容の分析】 【自己評価カードの内容分析】 アー③ 話の中心に気を付けて、話したり聞こうとしたりしている。	・CDを使って、聞き取りメモを実際に練習してみる。 ・技術面のみでなく、内容面のよさも相手に意識させたい。アドバイスカードの裏には、初めて知ったことや感心したことなどを書くことができるようにする。
三 次	第13 14時	○調べたこと「発表会」をする。 ○伝え合うことについて、自分の感想や考えをまとめる。 エー② 相手やその場の状況に応じた適切な言葉遣いで話している。 【発表の観察】 イー③ 感想を交流し合い、「伝え合う」ということについて自分の考えをまとめている。 【ノート】	・相手意識を持って活動に臨めるように、ゲストとして3年生を招待して発表を聞いてもらうようにする。また、ビデオもとり保護者の方々にもテープを貸し出してもらうようにする。 ・発表会を振り返り、ノートに伝え合うことについての感想を書きながら自分の考えをまとめていくようにさせたい。尚、書く時間は十分に保障するようにする。

6 本時の指導

(1) ねらい

知らせたい事が確実に伝わる言葉や、話すのに必要な言葉を選んでスピーチメモを作ることができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の工夫と 評価 <教材・教具>
導入 8分	1 スピーチ原稿の紹介をする。 2 学習課題をつかむ。 相手を見て話せるように、スピーチメモを作ろう。 目的意識：自分が知らせたい事を「伝える」ために 相手意識：スピーチを聞いてもらう人に	<ul style="list-style-type: none"> 前時までに作成したスピーチ原稿を、数名分実物投影機で紹介し努力を称える。 悪い例・良い例のスピーチをVTRで見て、読み方と原稿の違いに気付かせる。 聞く人の方を向いて話すことができるようにするには、スピーチ原稿を工夫すればよいことを押さえる。
展開 30分	3 スピーチメモの作り方を知る。 指導者がモデルスピーチで使ったメモを紹介する。 スピーチ原稿とスピーチメモを見比べてどのようにメモを作ったか気付いた事を発表する。 4 スピーチメモを作り、練習する。 スピーチメモを作る順番 自分のスピーチの大体が頭に入るように、原稿を何度も読む。 スピーチ原稿から大事な言葉を選んだり、まとめたりする。 で選んだ言葉をスピーチメモに書く。 作ったスピーチメモを使ってスピーチの練習をする。 練習をしながらメモの修正をする。 <ul style="list-style-type: none"> 作った子のメモの紹介をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に使ったメモと提示用の画用紙で書いたものとを両方用意する。 教科書P80の例も参考にさせ、大事な言葉(要点)を書き抜くことや、段落の始めの部分を書くことなどに気付かせる。 <紙板書> 作成手順を明確にし、どの子も見通しができるように板書を工夫する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">評価 ア-</div> <ul style="list-style-type: none"> 必要のないメモカードは削っていく。また、必要なメモカードは付け加えるようにする。 相手を見て練習できるようにするために二人組で向かい合って活動するようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">評価 イ-</div> <ul style="list-style-type: none"> 教師は机間巡視しながら、困っている子に支援を行う。
まとめ 7分	5 学習を振り返り、自己評価する。 <ul style="list-style-type: none"> 挙手で確認する。 6 感想発表する。 7 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 話すのに必要な言葉を選んで、スピーチメモを作る事ができたという成就感をもたせる。 自分のできるようになったこと・友達のよかったことが具体的に書けている子数名に発表させる。 グループ毎に、友達と聞き合いながらスピーチ練習することを伝える。

(3) 評価と支援

【観点】	【具体的評価規準】	【評価に応じた支援】
ア -	<p>A 相手に「伝える」ことを意識しながらスピーチをすることの大切さに気づき、進んで練習をしようとしている。</p> <p>B 相手を意識して、進んでスピーチの練習をしようとしている。</p>	<p>A 練習の仕方の良かった所を具体的にほめる。</p> <p>C 机間巡視で声掛けをする。</p>
イ -	<p>A 聞き手を意識しながら、スピーチメモに知らせたい事が確実に伝わる言葉、話すのに必要な言葉を選んで、かなり端的に書いている。</p> <p>B スピーチメモに知らせたい事が確実に伝わる言葉、話すのに必要な言葉を選んで、端的に書いている。</p>	<p>A 実物投影機を使い、よいところを具体的に示してほめる。</p> <p>C 友達のよいスピーチメモの例や、教科書のメモ例を提示し、参考にさせる。</p>

(4) 板書計画

・ 大事な言葉
段落の始めの言葉

・ 要点(小見出し)

「伝え合っ」ということ

相手を見て話せるように、スピーチメモを作ろう。

スピーチの仕方のよき

- ・ 間をあげて話している。
- ・ 大きな声で話している。
- ・ ゆっくり話している。
- ・ みんなをよく見て話している。
- ・ 相手を見て話している。

スピーチメモ

スピーチメモの作り方

先生のスピーチメモカード